

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	リアリティ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：リアリティ**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：ギア・エスエス**

フレアーの幅  インチ

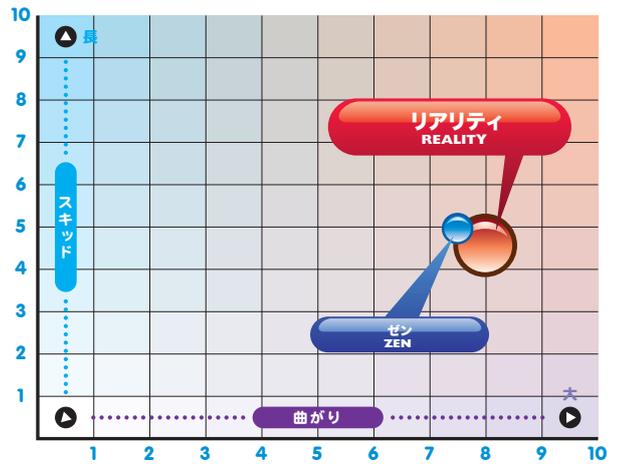
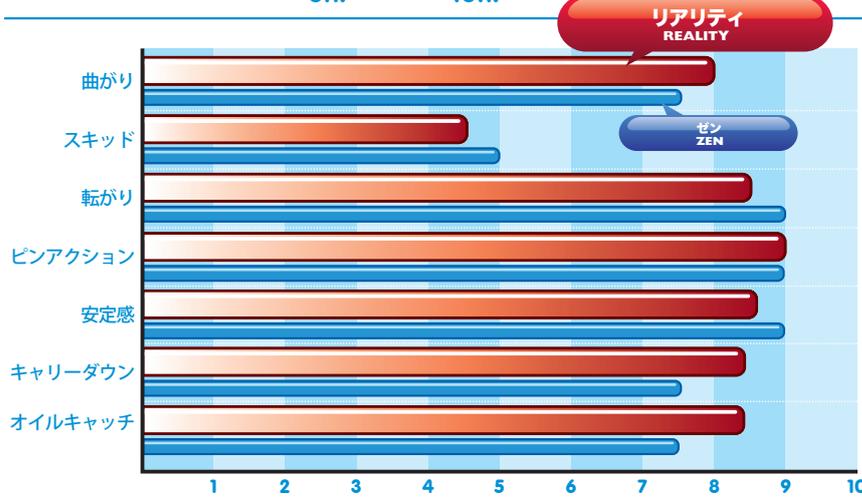
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

900Global社の生産拠点がユタ工場に一本化されてから、特に力を入れて導入されているS84系のカバーストック。900Globalの中で最も実績と信頼性の高いS74Rカバーストックの上位レベルとしてリリースされてきていて、先月リリースされたZENやこのREALITYもしく、新しいカバー領域でもあり、コア形状も全くの新開発のものが続々登場してきています。まず検証したいのはREALITYの性能のベースとなるS84 Responce Solid Reactiveと新しく作られたDisturbance Asymmetric Coreのことでしょう。S84領域は先月発売されたZENのS84R Pearl Reactiveと領域は同じですがResponce系のSolidリアクティブで、フロントエリアで厚いオイル量にも対応可能です。心臓部に収まったNew CoreのDisturbance Asymmetricは見た目もヘビウエイトの作りで、手前の転がり感と大きなネジレが発生出来るように意図して開発されました。持続性のある転がりはボールリアクションにも表れ、しっかりとブレーキングするカバーストックと持続性の転がりがあるコアは、オイルの中を転がり続け、ピンヒットまで動き続けます。

投げた印象は、カバーストックのS84 Responce Solid Reactiveはキャッチもするけどエネルギーが先まで残るイメージがありました。イメージを残せられるからこそ“Responce”という名称なのでしょう。逆にオイルが薄すぎると手前で噛みすぎて失速傾向もみられます。性能を活かすのであれば手前はしっかりしたオイル部分を使い、奥までのエネルギーを残せるライン選択の必要性も感じました。シンプルにスピードが早めの方で曲がりのトルクが欲しい方にはキャッチと曲がりの安定感を感じて頂けると思います。急激に動きがでたり先でキレルイメージとかではなく、転がりの強さや転がりの持続性を特徴とし、カバーの強さとコアの強さを活かせる仕上がりです。

### 特記事項

**転がり感がオイルに対しての安定感とピンヒットの強さの源になっているようなボール。転がりの持続性が高いのでオイルを長く使うコンディションで安定感を感じるボールです。**